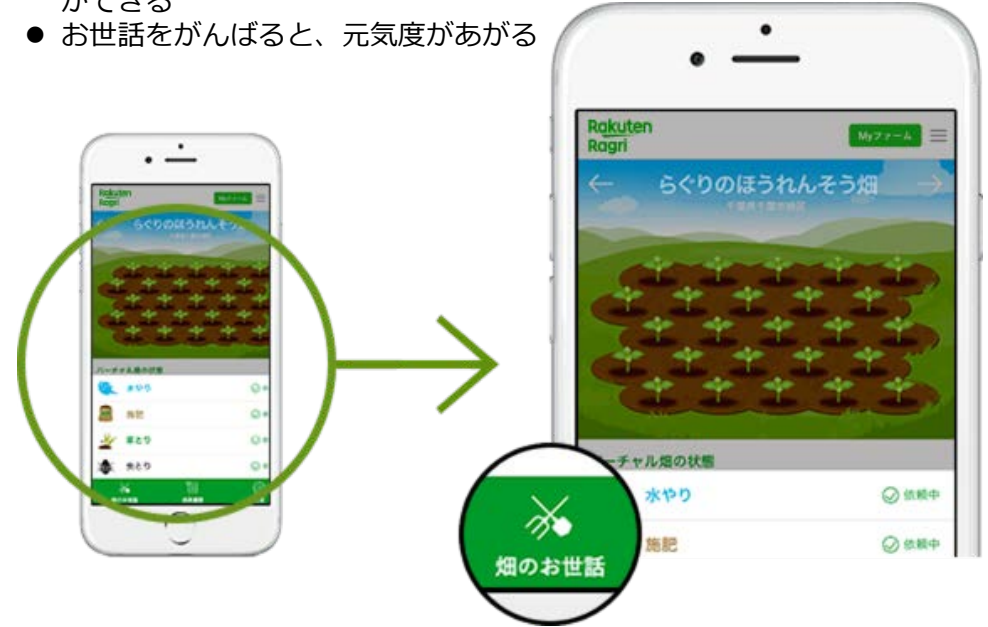


「Ragri」のサービス概要②

- リアル畑の様子は、農家さんから写真とコメントでお知らせがくる



- バーチャル畑では、水や肥料をあげたり、草・虫をとる「畑のお世話」ができる
- お世話をがんばると、元気度があがる



- バーチャル畑のお世話をがんばると、お届け量の割振りが多くなる
 - 同日に同じ作物を育てはじめた人たちの中で、元気度に応じて収穫量を分配する
- ※ バーチャル畑の元気度が低くても、各作物に設定している最低保証数は届ける

元気度: **80**/100
収穫量:

Aさんの畑

元気度: **92**/100
収穫量:

Bさんの畑

※同社HPより抜粋

Ragriの事業スキーム（支払条件、メリット等）

【メリット】

- 産直の新鮮なこだわりの農作物（無農薬・無化学肥料）
- バーチャル畑で疑似農業体験（食育も）

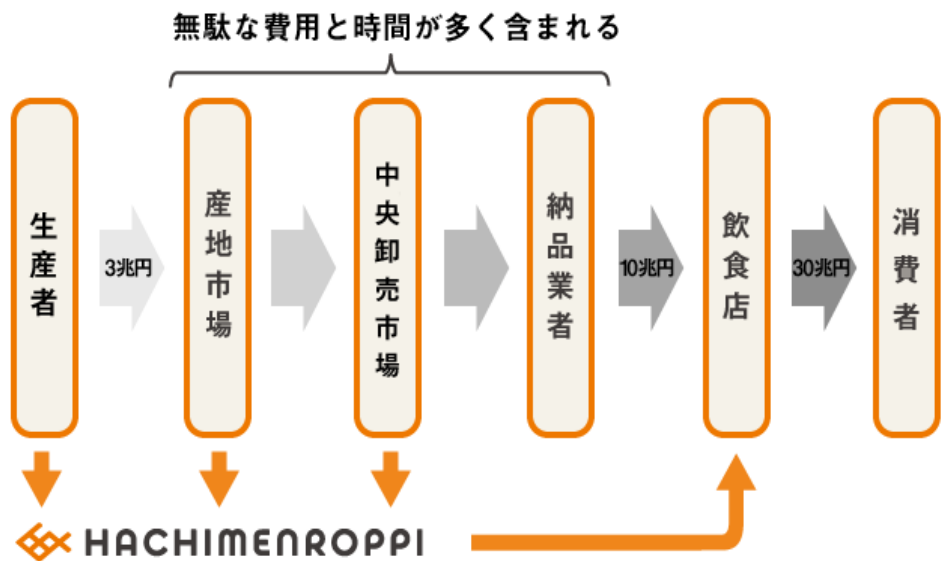
【メリット】

- 農作物の収穫量によらない安定した収入

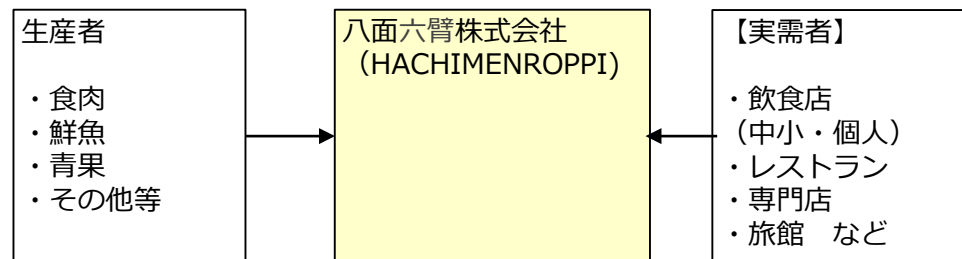


(4) 八面六臂株式会社 事業概要

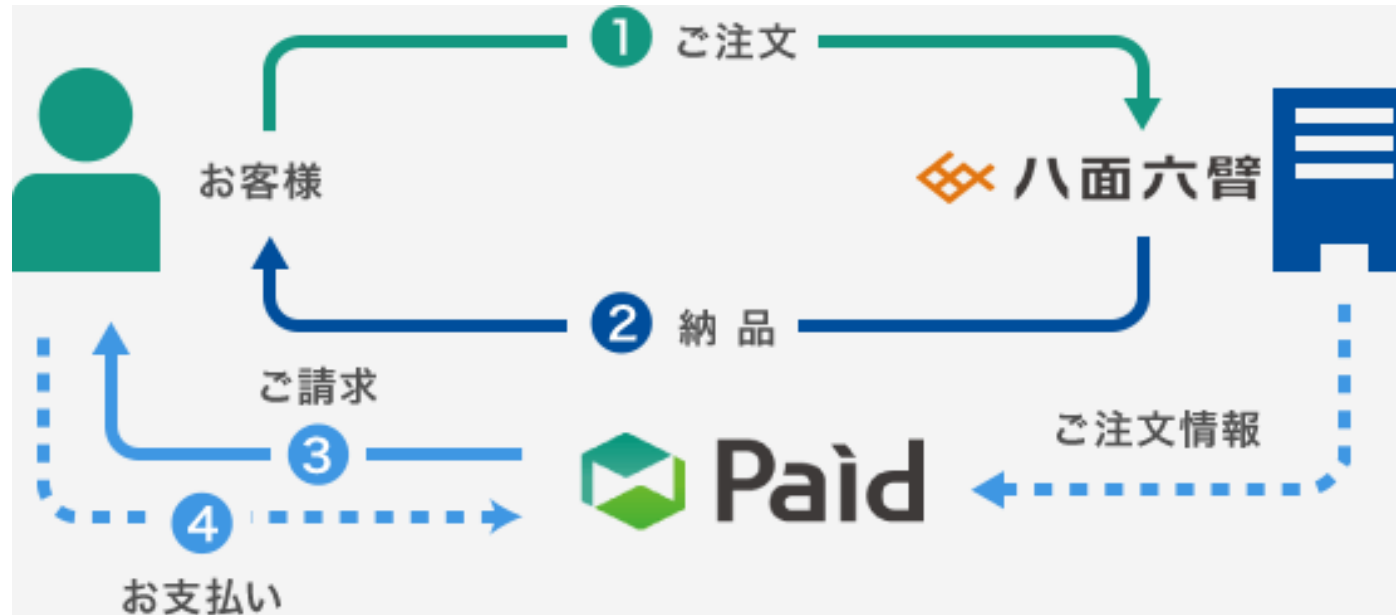
- ・生産者と実需者を直接つなぐサービスを提供。
- ・魚・肉・青果等の複数品目を対象としている。3000品目以上を対象に、取引先は1000店舗以上に拡大。
- ・自前の物流網を持ち、物流費を低減。



当初は専用アプリを組み込んだiPadを無償で提供



「Paid」 （ラクーン社の決済サービス） の活用



- ・午前2時まで注文を受ける
- ・社員・アルバイトは朝6時出社
- ・15時までに配送

- 登録料・利用料などの負担無し
 - ・ただし、振込手数料はお客様の負担
- 毎月の売掛決済で、一括のお支払いが可能
 - ・支払方法：「銀行振込」「口座振替（指定口座からの引き落とし）」
 - ・締め日：「20日」「月末」から、ご希望のものを選択可能
- 初回から掛払い（後払い）が可能
 - 決済システムPaidを通じて取引を行うと、取引が初めてのお客様でも掛け（後払い）でお支払い可能

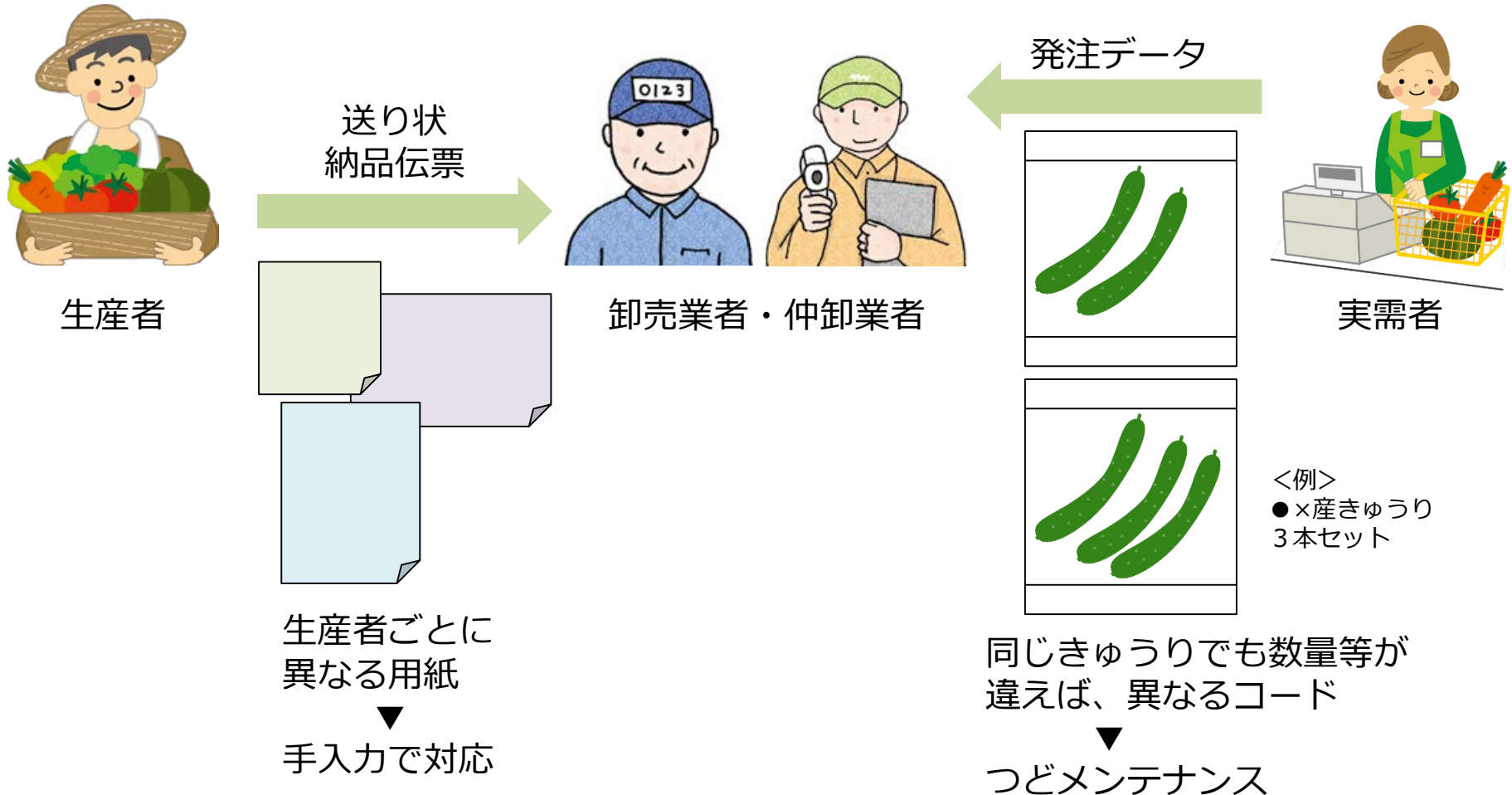
(5) 青果A社

調査項目	主な内容
決済方法	銀行振込中心
決済条件 (販売先からの入金サイト)	量販店からの入金については、1ヶ月以上のケースあり
請求書等の作成・送付方法	大手量販店については、各社専用の情報システム上で入力・送受信
与信管理	<ul style="list-style-type: none">・4区分（上場企業、個人・自営業者等）を設定・必要に応じて決算書、民間の信用調査報告書等をもとに個別設定
システム概要	自社開発（大手IT会社が開発）
返品等の対応	青果生鮮品においては傷み等による返品が多く、当社側の請求金額と販売先が認識している金額にズレが生じる。その確認・チェックや修正、販売先との交渉などに工数がかかっている。

※訪問調査結果をもとに弊社整理

プレイヤーごとに一貫しないコード

上流から下流まで商品コードが一貫していない。一貫するには上下にそれぞれ課題がある



(6) 青果B社

調査項目	主な内容
決済方法	銀行振込中心
決済条件 (仕入方法) (販売先からの入金サイト)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入れは輸入品が中心 ・量販店からの入金については、1ヶ月以上のケースあり
請求書等の作成・送付方法	<p>大手量販店については、各社専用の情報システム上で入力・送受信</p> <p>※B社としては「ペーパーレス化」をすすめたいと思っているが、確定申告の必要性等から紙での伝票を希望する取引先が一定数いる。</p>
与信管理	必要に応じて、決算書、民間の信用調査報告書等をもとに個別設定
システム概要	自社開発（金額は非公表）
返品等の対応	<p>青果生鮮品においては傷・いたみ等による返品が多く、当社側の請求金額と販売先（大手スーパー等）が認識している金額とのズレが生じることがよくある。その確認・チェックや修正、販売先との交渉などに工数がかかっている。</p> <p>（店舗ごとの仕入れ・返品状況などをリアルタイムで処理・判断する必要があり、難しい面あり。）</p>

※訪問調査結果をもとに弊社整理

【参考：電子帳簿保存法】

- ・ 国税関係帳簿書類の全部又は一部を電子データによる保存を認めた法律。
- ・ 2005年3月に改正され、紙媒体の書類をスキャナで電子化しての保存の規定が追加。
→所轄税務署長等が認めた場合、「所定の要件」のもとで電磁的記録での保存が可能

直売所・道の駅等

対象名	主な要点（決済条件・システム導入状況等）	備考
<p>(7) ファーム滝山 (東京都八王子市) (農産物直売所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者数130万人 売上高：約10億円 	<ul style="list-style-type: none"> レジにPOSシステムを導入しており、売上データは15分おきに自動的に集計され、出荷者は携帯電話又はパソコンから在庫状況等を確認できる。 →若手の農業者は随時携帯電話でチェックし、自発的に再出荷。 →概ね1日平均10名程度の出荷者が再出荷に応じており、小規模の直売所によく見られるような品切れ状態を回避 非常勤の駅長含めて指定管理者の社員5名で管理。 	
<p>(8) グリーンファーム (長野県)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出荷者への支払いは、その週の土日にまとめて現金払い。 (理由1) その週の努力がよく理解できる (理由2) 土日は来店者が多く、品物を大量に必要とする。 支払いの日が土日であれば、売上の回収にあわせて品物を持っていくことが期待されていた。(→土日の集荷をスムーズに行う) <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <pre> graph LR A[直売所 (道の駅)] -- "土日に現金払い" --> B[生産者 (農家等)] </pre> </div>	<p>手数料は20% (平均は15%程度)</p>
<p>(9) 山武郡市農業協同組合 (千葉県・道の駅)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 富士通のクラウドサービス（NetSeed）を導入。 道の駅ではPOS端末に入力・管理し、販売データ等を同サービス上で連携。 生産者は販売データ等はWEB上で確認可能。 (紙ではなくメール等でやりとり) 	